

「土砂災害のことについて」

宮崎県 国富町立本庄小学校 6年 西郷 花

近年、日本では、地震や大雨、台風のような自然災害が多数起こっています。その中でも、「土砂災害」は、大雨や地震などの影響で山や崖の土砂が崩れたり、崩れた土砂が、雨水や川の水と混じって、流れてくる災害です。

土砂災害は、いっしゅんにして家をはかいしたり、人の命をうばってしまうおそろしい災害です。そして、土砂災害には、3つの「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」という種類があります。

また、土砂災害の前に起こる現象があります。

1つ目は、地面にひび割れができる。

2つ目は、山や崖から小石が落ちてくる。

3つ目は、木がかたむく、木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえるです。

この3つの現象が起こると、土砂が崩れ落ちてくることもあるのです。

このようなことが起こる土砂災害から身を守るために、私たちにもできる備えを調べました。

1つ目は、ハザードマップを確認する。

自分の住んでいる場所が土砂災害警戒区域かどうかを確認し、避難場所や避難経路をはあくし、避難指示が出たら、速やかに避難所に避難をする。

特に高齢の人や、体が不自由な人は、早めの避難を心がけることが大切です。

2つ目は、土砂災害の前に起こる現象に注意し、危険を感じたら早めに避難する。

特に、山沿いや崖の近く、過去に土砂災害が発生した場所は、注意が必要なのです。

また、避難中は、ラジオやけい帯電話などで、情報収集をするとよいのです。

3つ目は、ふだんから意識を高め生活をします。

土砂災害をふくめ、自然災害は、いつ、どこで、どんな災害が起こるのかは、分からないので、ふだんから、意識を高めるとよいのです。

4つ目は、非常用持ち出しの準備です。

特に入れておくとよい物は、水、食料や救用品、季節に合った必要な物を大きなバックに入れておくとよいのです。

そして、そのバックは、すぐ持ち出せるところにおいておくとよいのです。

このようなことを備えておくと、土砂災害から身を守れることがあるのです。

このように、土砂災害は、家や道路をこわして、時には、人の命をうばってしまう災害だが、土砂災害がいつ起こっても、こまらなように、4つのことを備えておくとよいのです。

いつ、自然災害が起こっても、自分の命や自分以外の人の命が救われるかもしれないので、日ごろから、心がけようと思いました。